



ホテルの予約はお早めをお願いします！

日本学校ソーシャルワーク学会第13回全国大会 in 愛知

日程：2018年7月7日（土）・8日（日）

会場：愛知県立大学 長久手キャンパス

（学術文化交流センター・H棟）

大会テーマ：すべての子どもが自分らしく生きるために
～「まなざし」の再考～

「子どもの貧困」や「児童虐待」は、社会を挙げて解決に向けてとりくまなくてはならない喫緊の問題です。そのような中で、公立の小・中学校は、地域のほぼすべての学齢期の子どもの日常の育ちの場として、また子ども一人ひとりを支える基礎的教育を保障し、個々の子どもに適した次の進路につなぐ場として、そして、だからこそ家庭や地域、校種間をつなぐプラットフォームとして大いに期待されています。高等学校以上の学校は、さらなる個々の多様な生き方や進路、自立に向き合う教育の場として、そして社会へつなぐプラットフォームとして重要な役割を果たしていくでしょう。そのような中で、スクールソーシャルワーカーは校内外の多様な「つながり」を作るための専門職として「チーム学校」のスタッフに位置付けました。

このように、学校現場は大きな転換期を迎えています。しかし、そういうときこそ気をつけなくてはならないことがあります。それは、私たちの「気づき」のアンテナが偏らないことです。子ども支援に条件はありません。すべての子どもの権利、とくに教育の権利を保障することは、一人ひとりの子どもが自分の可能性を広げ、自分らしい人生を自分らしく生きることにつながっていきます。学校やスクールソーシャルワーカーは、すべての子どもに意識を向け、学校がプラットフォームとして機能するよう協働しなくてはなりません。

以上をふまえ、今大会では、少数であったり、意識を向けられにくい状況にあたりする子どもたちに焦点を当てながら、すべての子どもの最善の利益のために、学校がどうあるべきか、またスクールソーシャルワーカーがどう支援するのか、考えてみたいと思います。

第13回全国大会 大会実行委員長

日本学校ソーシャルワーク学会 理事

佐々木千里（名古屋市立大学特任教授）

1. 大会プログラム（各会場は、当日の受け付けでお知らせします）

7月7日（土）事前研修

TIME	SUMMARY
9：30	受付開始
9：50	<p>【公開研修】 「LGBTをとおして、本当に大切なものを考える ～ 互いに支え合う関係とは ～」</p> <p>講師：「NPO法人 ASTA」のみなさん コーディネーター：福間 麻紀（北海道医療大学） <<受講資格：特になし（非会員参加可）【受講料】2,000円 *大会参加者は1,000円>> 定員：なし</p> <p><研修のねらい> セクシュアルマイノリティーは人口の5%～8%だと言われています。日本の人口の13人に1人が当事者だと言われ、AB型の人と同じくらいの割合だと言われています。それなのに、80%の人が「カミングアウトされたことがないし、したという話も聞いた事がない」これが現状です。ASTAは、セクシュアルマイノリティー当事者と対話をする「LGBT出張授業」を行い、実際に当事者の人と交流することで、正しい理解と、人権や思いやり、そして勇気を考えていただいています。今回の研修でも、LGBTを通して、「本当に大切なものは何か」についてお伝えできれば、そして、みなさんと一緒に考えていければと願っております。</p>
11：50	<p>【専門研修】 「すべての子どもに向き合うアドボカシーの重層的視座 － 環境アセスメントの視点から －」</p> <p>講師：小西加保留氏（関西学院大学教授） コーディネーター：大塚 美和子（宝塚市教育委員会等SSW・スーパーバイザー） <<受講資格：学会員限定【受講料】2,000円 *大会参加者は1,000円>> 定員：100名</p> <p><趣旨> 「アドボカシー」は、ソーシャルワークの核となる概念ですが、その内容は曖昧で実行困難とも言われています。しかしながら、保護的な支援が必要と思われるクライアントや「声なき声」への対応など重要な人権擁護の対象となる課題は多いといえます。アドボカシー活動においては、クライアントの周囲の状況を徹底的に知る環境アセスメント、即ち支援者とクライアントの「関係性」を基底として、1. クライアント自身を取り巻く環境、2. システムとしてのメゾ・マクロな交互作用、3. 支援者自らの居る位置、を統合したアセスメントに基づいたスキルと戦略が必要です。そこでは自らがどのような位置に立って、どのような目的のために誰に対してアドボカシーを展開するのか について自覚的になることが重要であり、マイクロ～メゾ～マクロに亘る重層的な視座が求められます。学校ソーシャルワークにおいては、こうした実践力を前提として、地域に向けた予防的機能もまた期待されるところです。</p>

<事前研修申し込みの留意事項>

- ・申し込み及び口座振込の方法は、後記の「2. 大会案内」の手順に従ってください。
- ・資料準備の都合がありますので、できるだけ事前にお申し込みください。

7月7日（土）本大会1日目

TIME	SUMMARY
12:30	受付
13:00	開会式
13:10	シンポジウム すべての子どもが自分らしく生きるために ～「まなざし」の再考～
	シンポジスト 坪井由実氏（北海道大学大学院・愛知県立大学名誉教授） 報告①「子どもの発達環境とファシリテーターとしての教育関係専門職員の役割」（仮題） 金城やす子氏（名古屋学芸大学教授） 報告②「病気や障害のある子どもの教育 ―教育を受ける権利を保障するとは―」 松本一子氏（愛知淑徳大学非常勤講師）
16:50	報告③「外国にルーツを持つ子どもの生活と教育保障について」
17:00	年次総会 会員の皆様はご出席ください。
18:00	情報交換会 （愛知県立大学 I棟1階 第1食堂 Parc）
20:00	*事前申し込みが必要です。

7月8日（日）本大会2日目

TIME	SUMMARY
9:00	受付開始
9:30	口頭発表 ・発表は1演題あたり、発表時間15分、質疑応答・コメントで20分 計35分となります。 ・発表申込 締切4月23日（月）24:00 必着
12:30	*発表希望の方は後記の「3. 口頭発表応募方法・留意事項」をご参照の上、お申し込みください。
	昼休憩
13:30	課題別研究 第1分科会「学校という場をめぐる諸課題に私たちはどう向き合うのか
16:00	―学校ソーシャルワークの研究課題を探る― <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><趣旨> 学校という場に身を置く子どもにとって、また、その子どもたちと同時代を生きている私たち大人にとって「学校とはどのような意味をもつ場所なのか」、「いま、学校とは、どういう場としてあるべきか」を問うことは、多くの学問領域においても重要なテーマであり続けてきました。学校ソーシャルワーク研究に目を向けると、スクールソーシャルワーカーが「学校を基盤に」活動することに特長を持つ職種であるというとき、その活動の基盤となる「学校という場」の意味を問う研究はまだほとんどなく、その現状を直視することが重要でもあります。そこで本分科会では試みとして発達心理学の学問領域が学校という場をめぐる諸課題にどのようなアプローチを行ってきたのかを学びます。その後、社会福祉領域の研究者からご自身の研究を紹介していただきながら、参加者の方々と、改めて学校ソーシャルワークの研究課題について考えたいと思います。</p> </div>

第2分科会「スクールソーシャルワークの支援デザインを考える」

<趣旨> ミクロ～メゾ～マクロを視野に入れたスクールソーシャルワーク実践においては、子どもや家族、学校の主体性を重視した持続可能な生活環境を形成するために、誰が誰に・どこに働きかけ、どのような相互作用を生み出せば、どのようなプラスの変化が、どのように生じていくのかのプロセスを可視化する「支援デザイン」が必要だと考えます。それにはスクールソーシャルワークの価値をふまえた、理論や科学性、計画性等のサイエンスの要素と、思いやり、感性、教養、創造性等のアートの要素等が不可欠であり、「スクールソーシャルワークの支援デザイン」の研究では、他の領域から学ぶべきものが多くあります。

今回は、建築学の立場で、学校や子どもの環境に関わる研究を続けておられる講師をお招きし、建築・都市・環境の3つを軸とした建築意匠計画・設計や環境デザインの知見や考え方を学びます。そして、ソーシャルワークと共通する要素を見だし、新たな視点や知識を得たうえで、「スクールソーシャルワークの支援デザイン」について参加者とともに考える機会にしたいと思います。

第3分科会「地域共生社会における教育分野のソーシャルワーカーの役割と実践」

<趣旨> 制度や分野の縦割り等に対処し、住民一人ひとりの暮らしと生きがいを地域でともに創っていく地域共生社会の実現が目指されています。このような状況のもと、ソーシャルワーカーには包括的な相談支援体制の構築とともに住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりの推進において、ソーシャルワーク機能を発揮することが特に求められています。このような現状を踏まえたうえで、教育分野のソーシャルワーカーはどのような役割を担っていくべきなのか、その役割を果たすためにはどのような実践をすべきなのか、そしてそれを可能にする環境とはどのようなものなのでしょうか。本分科会では、義務教育と高等学校の各スクールソーシャルワーカー、大学のキャンパスソーシャルワーカーを発題者として迎え、各々のソーシャルワーク実践の現状と課題から地域共生社会に向け必要とされる専門的役割と具体的実践について皆様と議論していきたいと思えます。

第4分科会「チーム学校における教員と職員の法制—教師の働き方改革とSSW—」

<趣旨> スクールソーシャルワークが学校教育法施行規則に位置づき、新たな第一歩になりました。しかし、たくさんの壁があります。

まずは教師の働き方改革が先だとも言われます。非常勤職員に対する定数条例をどのように検討していくかの議論もあります。そこでしっかり学校教育法や、義務教育の教職員に関する法令、定数条例など含む学校の財務的法律や実態、そして教師の働き方の実態を知り、社会福祉を専門とする私たちが学校領域で位置づくために、法制や教師の実態をどう考え整理したらいいのか、教育学分野での検討を学ぶことから示唆を得ていきたいと思えます。

前日企画：2018年7月6日（金）19：00～21：00

ディナーミーティング（dinner meeting）

テーマ：「学校と児童相談所等との連携について」

話題提供者： 渡辺 忍 氏（日本福祉大学 教授）、 野田 正人 氏（立命館大学 教授）

場所： 愛知県産業労働センター ウィンクあいち 9階小会議室 906 （JR名古屋駅桜通口から徒歩5分）

要事前申込：（定員40名）＊定員になり次第、〆切ります。学会HPでご確認のうえお申し込みください。

2. 大会案内

参加区分と費用

前日企画	2,000 円 (お弁当・お茶代をふくむ)			
事前研修*1 公開または専門どちらか一つ	本大会の参加者	事前研修のみ受講者		
	1,000 円	2,000 円		
本大会	会員	非会員	学生/大学院生*2	
	事前申込	3,000 円	4,000 円	2,000 円
	当日申込	5,000 円	5,000 円	3,000 円
情報交換会	3,500 円 (事前申込のみ)			

*1…事前申し込み、当日申し込み、どちらも同額

*2…社会人学生と社会人大学院生を除く

参加費等支払方法

<事前申込の場合> *申込受け付け中

① 専用の事前申込フォームに必要事項を書き込み、送信する。

<https://form.os7.biz/f/96ccf788/> から、

または右の QR コードから事前申込フォームへ入る。

必要事項を記入し、送信する (申込)。



申込 〆切り : **6月8日(金)24:00**

申込直後に送信される【仮受付メール】によって申込内容を確認してください。

② 参加費等を振り込む。

事前申込フォームに記載した合計金額を、仮受付メール受信後、10日以内に

下記の振込口座 (ゆうちょ銀行) へお振り込みください。

振込 最終〆切り : **6月15日(金)15:00**

(*振込の最終〆切りまでに、入金を確認できない場合には、当日申込の扱いとなります)

③【事前申し込み完了メール】を受信する。

大会事務局での事前申込及び振込の確認ができ次第、申込者のご登録メールアドレスへ

【事前申込完了メール】を送信いたします。必ずご確認ください。

↓

<<事前申込受付完了>>

【ゆうちょ銀行】

名 義 日本学校ソーシャルワーク学会全国大会

記号・番号 17400-93866021

【他金融機関からの振込を利用する場合】

カ ナ ニホンガッコウソーシャルワークガクカイゼンコクタイカイ

店 名 七四八 (ナナヨンハチ) 店 (748) 預金種目 普通

口座番号 9386602

振込は、入金内容（前日企画参加費・事前研修参加費・本大会参加費・情報交換会参加費）をお間違えないようご確認の上、一括して上記の口座へ振り込んでください。

注1：振込後2週間経っても【事前申込完了メール】が受け取れない場合は、お手数ですが大会事務局までお問い合わせください。

注2：振込いただいた費用は、いかなる場合も返金いたしかねますのでご了承ください。

注3：学会費の納入は受け付けませんのでご注意ください。 *学会費納入は別口座です。

<当日申込の場合>

受付にて申込手続きをし、上記の該当参加区分の参加費をお支払いください。

なお、当日申込での前日企画および情報交換会は参加できませんので、ご了承ください。

情報交換会について

会場は大学構内の食堂となります。お食事をしながら全国の仲間との交流をお楽しみください。

なお、情報交換会に定員はございませんが、事前申込のみ受け付けます。皆様、お誘いあわせの上ふってご参加ください。

宿泊の手配について

大会事務局での宿泊の手配は行っておりません。各自でご用意いただきますようお願いいたします。

なお、地下鉄東山線沿線の宿泊施設が便利です。余裕をもってご予約されることをお勧めします。

託児について

託児所は設けておりませんのでご了承ください。

駐車場について

原則、大学構内へのお車での乗り入れはご遠慮いただいております。後述の交通アクセスを参照の上、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

バリアフリーについて

キャンパス内すべての施設においてバリアフリーの整備ができています。

昼食について

近辺には、飲食店やコンビニ等のお店がありません。大学構内にはパンや飲料の自動販売機がありますが数に限りがあります。昼食は各自で持参いただき、大学構内の指定場所でおとりください。

3. 口頭発表応募方法・留意事項

口頭発表（研究発表・実践発表）の申し込みを希望する会員は、応募要領をご参照の上、不備のないように、

4月23日（月）24：00 必着でご応募ください。

応募要領

(1) 発表者の応募資格

- 1) 応募の時点で本学会の会員（2018年度までの学会費納入者）の資格を有する者。
 - 2) 共同発表の場合は、全員が、1)に該当することが必要です。応募の時点で1名でも、1)に該当しない場合は、申し込みを受理することはできません。
 - 3) 発表応募者（共同発表者を含む）は、事前申込及び大会参加費の振込を完了してください。
- ※1)から3)の条件を充たさない場合は、大会直前であっても発表を取り消すことがあります。

(2) 口頭発表の応募方法

- 1) 事前申込の際、申込フォームの口頭発表応募希望の欄の【あり】を選択してください。
- 2) 【事前申込完了メール】を受け取っていることを確認して下さい。
- 3) 大会事務局 (jsssw2018@gmail.com) に、件名に「2018ssw口頭発表申込」と書き、メール本文に①氏名、②所属、③連絡先（住所及び連絡可能な電話番号）、④希望する発表形態（研究発表／実践発表）【下記(3)の3参照】、⑤題目、⑥パソコン使用の有無、⑦共同発表者氏名（単独の場合は不要）を明記し、発表原稿（要旨）を添付の上、メールにて応募してください。

(3) 口頭発表における留意事項

- 1) 口頭発表は、1会員1演題に限ります。そのため、応募については必ず筆頭発表者が行うようにしてください。
- 2) 同一テーマによる発表は、「その1」「その2」までとします。ただし、内容が別の研究と認められる場合に限りません。また、当日の発表においても、各々が独立した発表として行うため、時間を連続して発表を続けることはできません。
- 3) 口頭発表の形態は、自らの研究の成果を発表する「**研究発表**」と、自らの実践内容を発表する「**実践発表**」の2種類とします。発表応募者は、発表の種類を選択したうえで発表原稿を作成してください。
- 4) 要旨は学術的文献として公表されます。内容を十分に吟味したうえで、研究発表については、原則として、**研究の目的、方法、倫理的配慮、結果、考察、結論等の各項に分けて記述**してください。この形式で作成されていない発表原稿については、発表を認めない場合もあります。
- 5) 口頭発表の可否は、理事会の審査で決定し、審査結果については5月20日頃までに大会事務局より各応募者へご連絡いたします。その際、要旨の内容により、発表の種類を変更していただく場合もあります。
- 6) 研究倫理上の問題がある発表や個人の著作販売を目的とする発表等は、発表後であってもそれを取り消す場合があります。
- 7) 口頭発表が決定した後、急なキャンセル等をされないように留意してください。

(4) 発表原稿（要旨）の作成要領

1) 原稿用紙

要旨は、後記の「発表原稿の書式」を参考にして、A4版2ページで作成してください。字数は、Word・MS明朝にて本文3,358字（23字×146行）となります。PDFファイルは受理できませんのでご注意ください。本文とは別に、文頭6行を題目・発表者氏名・所属機関・キーワードを挿入してください。なお、連名発表者がいる場合は、筆頭発表者氏名の前に○印を付けてください。また、本文の最後に発表者氏名をローマ字にて記載してください。

2) 図・表

図と表は最小限に止め、写真は使用しないでください。

3) 事例

事例等の記述については、プライバシー保護の観点から、関係者からの承諾等の基本的な倫理規定を遵守してください。なお、要旨には倫理的配慮の内容を明記してください。記載内容が不十分な場合や記述がない場合は、発表が採択されないことがあります。

(5) その他留意事項

- 1) パソコンを使用する場合には、原則として大会事務局で用意したパソコンをご使用いただきます。
- 2) 発表原稿の要旨の他に追加資料がある方は、各自にて100部をご用意ください。会場での印刷は一切ご対応致しかねます。予めご了承ください。
- 3) 発表用のデータは、各自のUSBにて当日ご持参ください。**7月8日(日) 9:00~9:20**を発表者の準備時間といたしますので、パソコンの操作確認等も含めて、事前のご対応をお願いいたします。
- 4) 一演題の発表時間は、【発表時間 15分 質疑応答・コメント 20分 計35分】を予定しております。

4. 会場アクセス

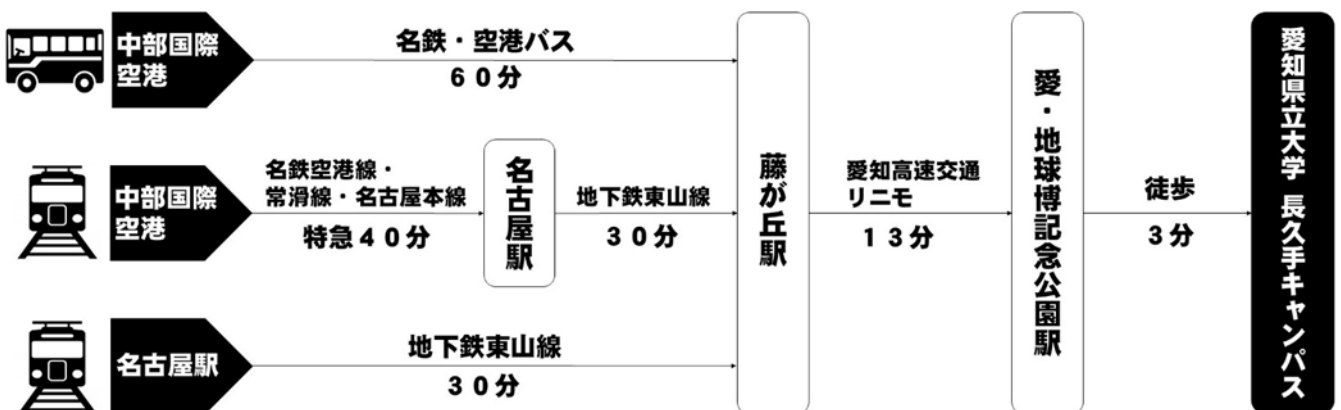
〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522 番 3

空路の場合

- ①中部国際空港（セントレア）から名鉄バス・空港バスの藤が丘駅前行で藤が丘まで約 60 分。藤が丘駅から愛知高速交通リニモ・八草行で愛・地球博記念公園駅まで 13 分。愛知県立大学まで徒歩 3 分。
- ②中部国際空港（セントレア）から名鉄空港線・常滑線・名古屋本線特急で名古屋駅まで約 40 分。名古屋駅から地下鉄東山線で藤が丘まで約 30 分。藤が丘駅からは①と同様。

新幹線の場合

○東海道新幹線名古屋駅下車。名古屋駅から地下鉄東山線で藤が丘まで約 30 分。藤が丘駅から、愛知高速交通リニモ・八草行で愛・地球博記念公園駅まで 13 分。愛知県立大学まで徒歩 3 分。



大会事務局

* 学会事務局ではありませんのでご注意ください

ご質問やご不明な点等がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

E-mail : jsssw2018@gmail.com

(担当：山本理絵)



題目（主題）

題目（副題）

氏名

（所属）

Key Word（3つまで）

1行あける

33行分

40行分

段間余白7ミリ

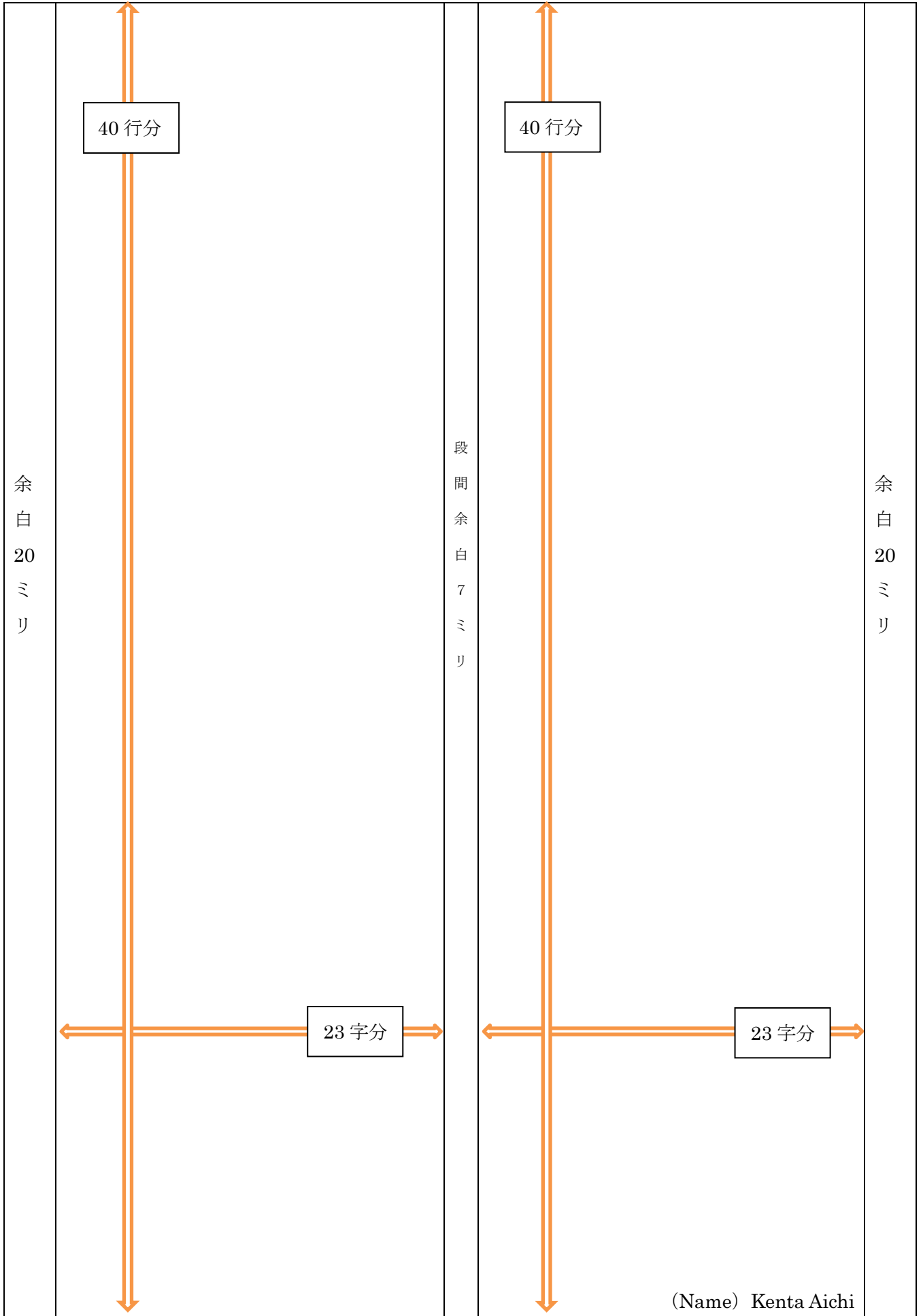
23字分

23字分

余白20ミリ

余白20ミリ

上余白 22 ミリ



下余白 22 ミリ

